

# おごせ 教育 Pick Up

## 越生小学校



12月7日、持久走大会を実施しました。1年生は700m、2年生は800m、3年生以降は学年が上がるにつれ200mずつ距離が増え、6年生は1800mを走りました。多くの保護者や地域の方の声援を受けて児童は最後まで粘り強く取り組むことができました。

## 梅園小学校

12月3日、5年生が間伐体験を行いました。無名戦士の墓付近の山に入り、埼玉森林サポータークラブの方の指導を受けながら、間伐を行いました。実際に木を切る体験を通して、健全な森林をつくることを学びました。



## 越生中学校

12月14日、全学年を対象に情報モラル教室を開催しました。今回は民間の通信会社から講師を招き、インターネットは便利である反面、画面上の情報しかなく誤解が生じやすいこと、ネットにのせた情報は消すことが困難であることなど、注意すべきことやマナーについて教えていただきました。



### おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。

地域の皆様に見守られ、創立六十七周年目を迎えた武蔵越生高等学校は、地域産業と連携した取り組みを行っています。

家庭科部は、越生梅を素材にした和食のメニューを考案し、オーパーク越生にて期間限定で提供させていただきました。また、文化祭では山口農園の梅の木で染色したストールや果肉を使用した梅ジュースの販売を行いました。今年初めて、産業祭にも参加できました。

ハンドクラフト部で作製した切り絵は、丸広百貨店で越生の地場産業お歳暮ギフトの飾り紙に採用されました。

越生梅林まつりでは、毎年和太鼓部が参加しています。どれも好評いただき、何より生徒たちが充実した活動になりました。ご協力いた

ズームイン教育270

## 地域活性化 プロジェクト

武蔵越生高等学校



◀越生の地場産業お歳暮ギフトの飾り紙



◀山口農園の梅の木で染色したストール

き、有り難うございます。

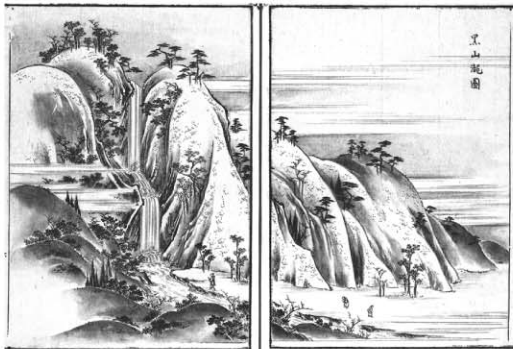
越辺川河川清掃や越生祭り、福祉施設の訪問など、今後も積極的に地域の方々との協働を通して、地域貢献に努めてまいります。

# 越生浪漫

No. 133

## 越生人物往来⑩

修験の大先達  
越生山本坊



「黒山滝図」『新編武蔵風土記稿』文政12年（1831）より

ライトアップコンサートや観光施設のリニューアルなどで、新たな魅力を発信している黒山には、幕末期以降に観光地として知られる以前からの、修験道の霊場としての歴史があります◆修験道は、修験者（山伏）が深山幽谷で厳しい修行を積んで超自然的な



黒山の大平山に立つ修験道の開祖役行者の石像（左）と山本坊栄円の供養塔（右）

霊力を得ることを目的とする神仏習合の宗教で、平安時代から盛んになり、各地に修行場が開かれました。なかでもユネスコの世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されている紀州（和歌山県）の熊野三山は、中世には貴賤老若の参詣者が列をなし、「蟻の熊野詣」と呼ばれるほど賑わいました◆室町時代の応永年間、山本坊栄円は熊野神社を黒山に勧請し、関東に修験



「武蔵国大平山略図」『越生の歴史』平成9年 所収

道を広める拠点としました。熊野神社を熊野本宮大社、天狗滝を熊野速玉大社（新宮）、男滝・女滝を熊野那智大社に擬え、黒山一帯を熊野三山に見立てた「関東の熊野霊場」として整備しました。栄円の出自は不詳ですが、平将門の十三代目の末裔であると伝えられています。大平山の役行者像の傍らには、「山本開山権大僧都 栄圓和尚」「應永二十年己巳 十月日」の銘がある、応永20年（1413）建立の供養塔があります◆大平山に役行者像が造立された元治2年（1865）から明治初年頃に刷られたと推定される木版『武蔵国大平山略図』には、薬師堂・愛宕・天王・



「梅園村大字黒山熊野神社境内見取図」明治40年（1907）越生町役場所蔵

蔵王堂・不動堂・長命寺・覚浄院・東学院などが記されています。水行を行う滝を中心に、さまざまな信仰施設が配されていたことが見て取れます◆黒山は、決して関東平野のどん詰まりではなく、のちの高山不動・子ノ権現の参詣路である「高山道」・「子ノ権現道」のような、峠や尾根道を介して、吾野や秩父方面とを結ぶ巡礼道や交易路が四通八達する要衝であったことが、栄円が黒山に霊場を開いた理由でしよう◆山本坊は、15世紀末に西戸村（現毛呂山町）に本拠を移した後も「越生山本坊」と称し、京都聖護院を本山とする「本山修験二十七先達」として信者を熊野三山へ引導し、関東一円の「霞」と呼ばれる配下に影響を及ぼ



「役行者像修復開眼護摩法要」平成19年9月12日

していました。江戸時代には、修験者は、村落に定住して加持祈禱を行い、呪術師、医師、祭司、あるいは手習いの師匠を務めるなど、村人たちにとって必要不可欠な存在でした◆明治維新で修験道は禁止され、山本坊も幕を閉じました。平成9年（1997）、山本坊開山以来初めて、本山修験宗総本山の聖護院門跡が来訪し、第五十一世門主加来徳泉師一行が大平山に登拝しました。これを機に「越生聖護院門跡講」が結成され、法縁が復活しました。平成19年には、五十二世門主宮城泰年師によって、前年に損壊された役行者像の修復開眼式が執行されました。